

EasyBlocks Syslog

1T/480G/240G/120G

ユーザーズガイド

ファームウェア Ver1.0.3 以降に対応

対象モデル

BPV4/SYSLOG1T, EBX9/SYSLOG480G, EBIX/SYSLOGxG



ユーザーズガイド 1.0.3 (2020/09/18)

■ 商標について

- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することとはご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

1. はじめに	5
1.1. 各部の名称	5
1.1.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T.....	5
1.1.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G	6
1.1.3. 型番: EBIX/SYSLOGxG.....	7
1.2. ケーブルクランプの取り付け	8
1.2.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T.....	8
1.2.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G	8
1.2.3. 型番: EBIX/SYSLOGxG.....	8
1.3. ステータスインジケータの点灯について	9
1.3.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T.....	9
1.3.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G または EBIX/SYSLOGxG	9
1.4. 出荷時設定情報	10
1.4.1. IP アドレス	10
1.4.1.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T.....	10
1.4.1.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G または EBIX/SYSLOGxG	10
1.4.2. WEB I/F の URL.....	10
1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザー.....	10
1.4.4. FTP ユーザー	10
1.4.5. シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー	11
2. 設置・初期設定.....	12
2.1. 設置・設定のステップ.....	12
2.2. 初期設定.....	13
2.2.1. 設定端末の設定	13
2.2.2. WEB 操作画面の表示	14
2.2.3. 使用許諾契約書の確認.....	15
2.2.4. 初期設定	16
2.2.5. ネットワークの設定	17
2.2.6. IP ルーティングの設定.....	19

2.2.7.	サービスの設定	20
2.2.8.	装置の停止	21
2.3.	設置	22
3.	WEB 操作画面	24
3.1.	ダッシュボード	25
3.2.	サービス	26
3.2.1.	ログ表示	26
3.2.2.	統計	30
3.2.3.	基本設定	31
3.2.4.	フィルタ設定	39
3.2.5.	ログ管理	42
3.3.	システム	47
3.3.1.	時刻設定	47
3.3.2.	その他	50
3.3.3.	マイページ	51
3.3.4.	EasyBlocks	52
3.3.5.	S/N	52
3.4.	ネットワーク	53
3.4.1.	基本	53
3.4.2.	ルーティング	55
3.4.3.	プロキシ	56
3.4.4.	状態	58
3.5.	メンテナンス	60
3.5.1.	設定	60
3.5.2.	システムの更新	63
3.5.3.	停止・再起動	71
3.5.4.	サポート	73
3.6.	AirManage	74
3.6.1.	AirManage	74
3.6.2.	AirManage 登録	77
4.	ログの自動削除	80
5.	その他利用方法	81

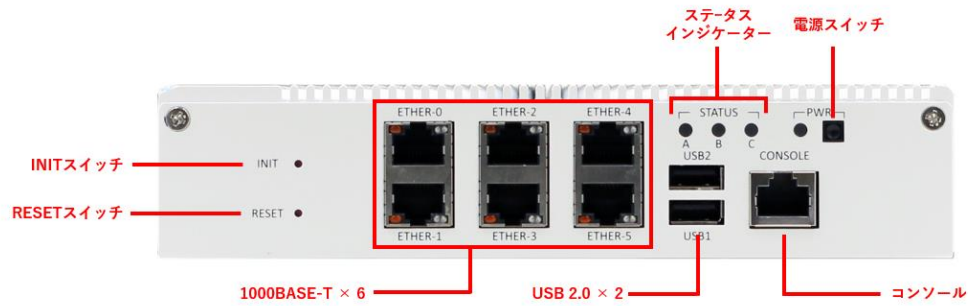
5.1.	SSH でログイン	81
5.2.	シリアルコンソールでログイン	81
5.3.	ファクトリーリセット.....	82
5.4.	BIOS 設定.....	83
6.	注意事項	84
6.1.	電源断について	84

1. はじめに

1.1. 各部の名称

1.1.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T

■ 前面コネクタ

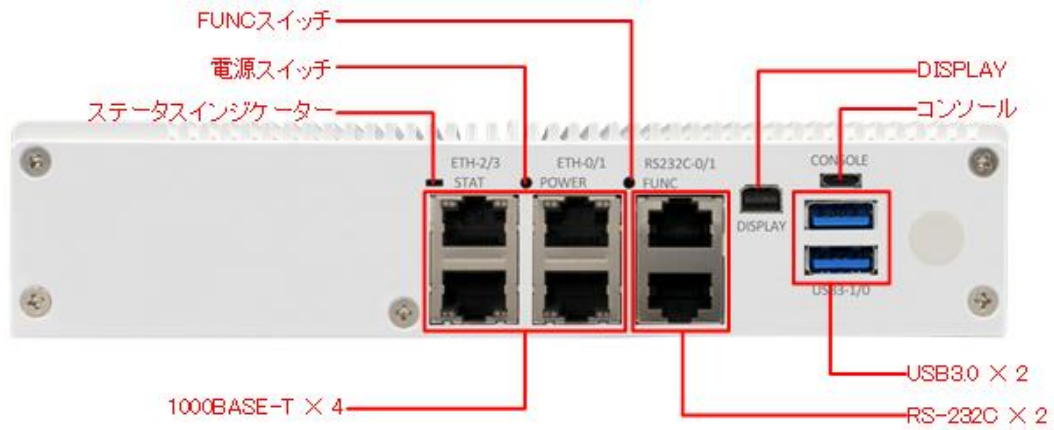


■ 背面コネクタ



1.1.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G

■ 前面コネクタ

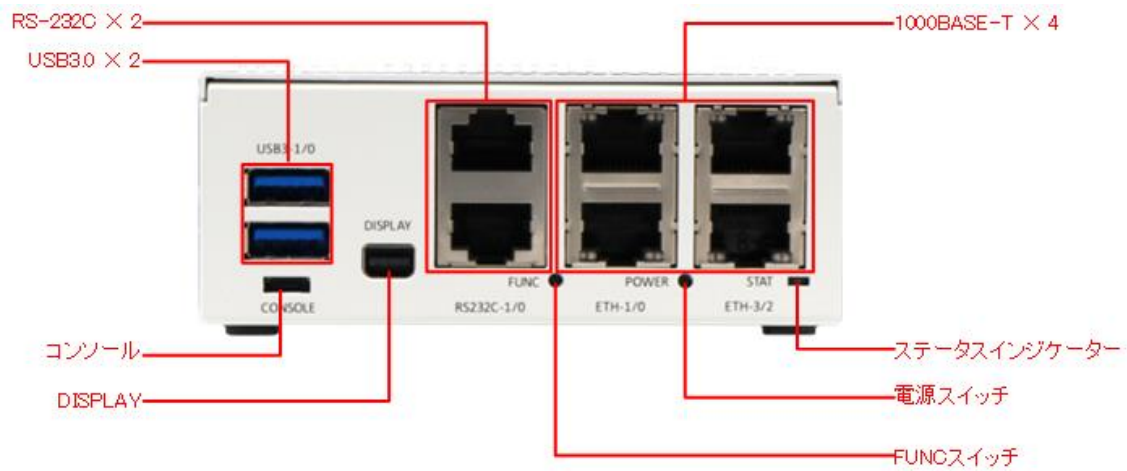


■ 背面コネクタ



1.1.3. 型番: EBIX/SYSLOGxG

■ 前面コネクタ



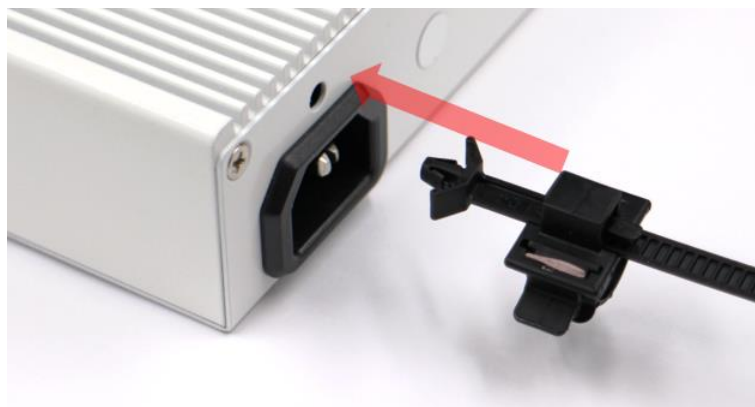
■ 背面コネクタ



1.2. ケーブルクランプの取り付け

1.2.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T

AC-IN 上の穴に添付のクランプを差し込みます



1.2.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G

AC-IN 上の穴に添付のクランプを差し込みます



1.2.3. 型番: EBIX/SYSLOGxG

ケーブルクランプは使用しないでください。

1.3. ステータスインジケータの点灯について

1.3.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T

状態	ステータスインジケータ
停止中	A～C は消灯しています。 PWR は青点灯しています。
起動処理中・停止処理中	A が黄色点灯します。 B 及び C は消灯しています。 PWR は緑点灯しています。
稼働中(通常稼働中)	A が緑点滅します。 B 及び C は消灯しています PWR は緑点灯しています。
稼働中(AirManage 加入失敗時)	A が赤点灯します。 B 及び C は消灯しています。 PWR は緑点灯しています。

1.3.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G または EBIX/SYSLOGxG

状態	ステータスインジケータ
停止中	ステータスインジケータは消灯しています。
起動処理中・停止処理中	ステータスインジケータは黄色点灯しています。
稼働中(通常稼働中)	ステータスインジケータは緑点滅しています。
稼働中(AirManage 加入失敗時)	ステータスインジケータは赤点灯しています。

1.4. 出荷時設定情報

1.4.1. IP アドレス

1.4.1.1. 型番: BPV4/SYSLOG1T

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0(eth0)	192.168.254.254	255.255.255.0
Ether-1(eth1)	未設定	未設定
Ether-2(eth2)	未設定	未設定
Ether-3(eth3)	未設定	未設定
Ether-4(eth4)	未設定	未設定
Ether-5(eth5)	未設定	未設定

1.4.1.2. 型番: EBX9/SYSLOG480G または EBIX/SYSLOGxG

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0(eth0)	192.168.254.254	255.255.255.0
Ether-1(eth1)	未設定	未設定
Ether-2(eth2)	未設定	未設定
Ether-3(eth3)	未設定	未設定

1.4.2. WEB I/F の URL

http://192.168.254.254:880/

※Edge、Chrome、Firefox 等の最新バージョン利用を推奨します。尚、WEB I/F では JavaScript を使用していますので、JavaScript は有効にしてください。

1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

1.4.4. FTP ユーザー

ユーザー	パスワード
ftpuser	後述の「FTP サーバ機能」で設定していただきます。

1.4.5. シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー

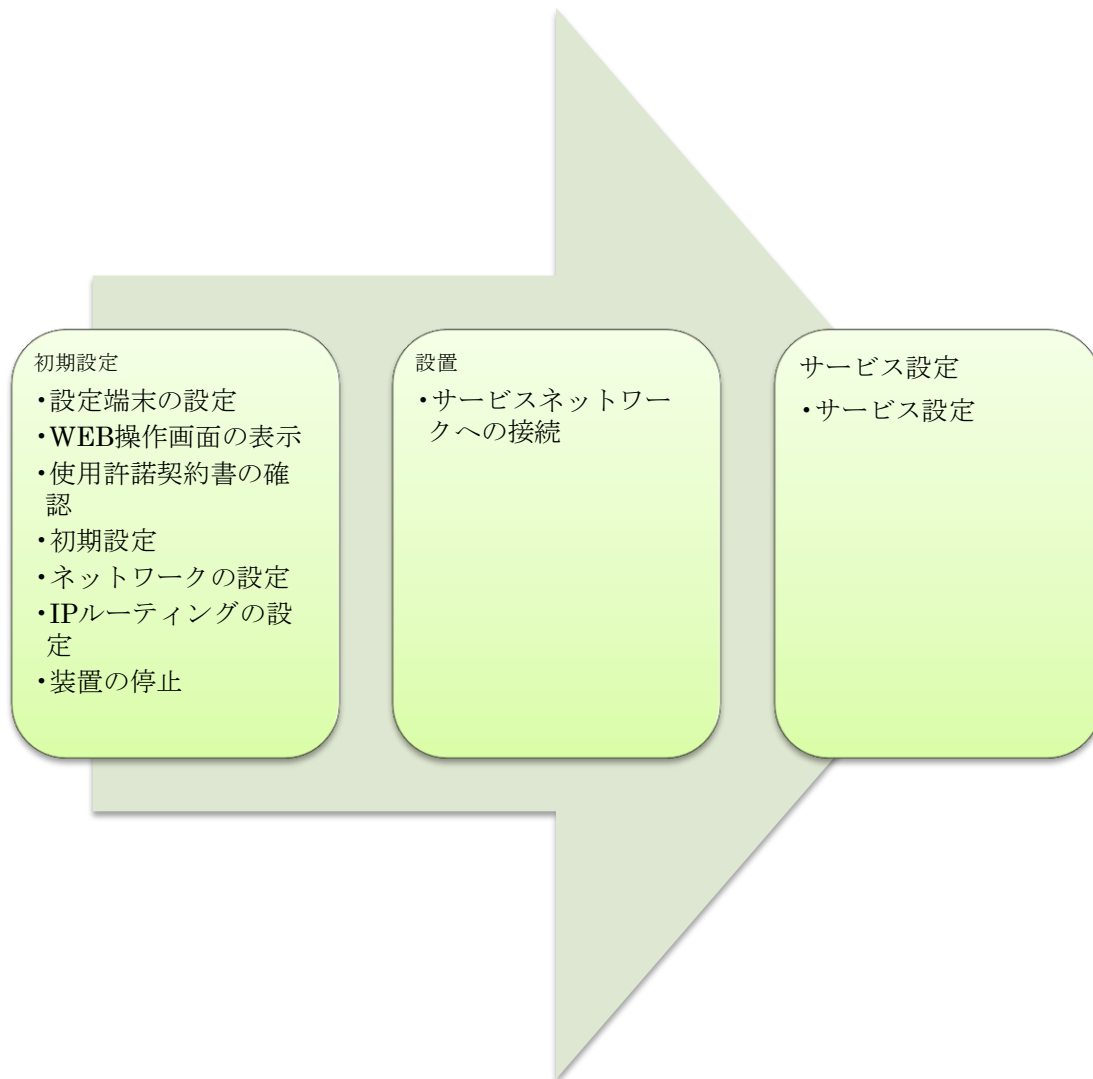
シリアルコンソールや SSH でのアクセスをしなくとも運用管理は可能ですが、必要な場合は以下の ID・パスワードを使用してください。

ID	ebsupport
パスワード	ebsyslog

※ebsupport ユーザーは `sudo` コマンドにて `bash` を使用可能です。そのため、`sudo bash` 後に必要に応じてコマンドをご使用ください。

2. 設置・初期設定

2.1. 設置・設定のステップ



2.2. 初期設定

2.2.1. 設定端末の設定

設定端末から WEB 操作画面にアクセスするための準備を行います。以下の手順で設定端末に設定を行ってください。

1. 本装置の ETHER-0 に設定端末を接続する。
2. 設定端末に 192.168.254.0/24 のホストアドレス（192.168.254.254 を除く）を設定する。

以下に設定端末の設定例を記します。

設定項目	設定値
IP アドレス	192.168.254.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	なし
DNS サーバアドレス	なし

表 2-a 設定端末の設定例

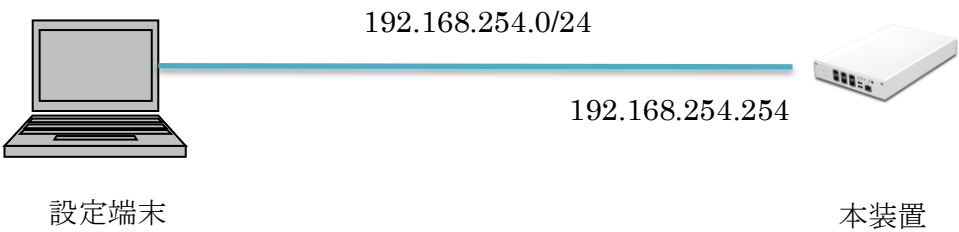


図 2-a 初期設定時のネットワーク構成

2.2.2. WEB 操作画面の表示

設定端末の WEB ブラウザで以下の URL を開いてください。

<http://192.168.254.254:880/>

2.2.3. 使用許諾契約書の確認



The screenshot shows the 'EasyBlocks' initial setup window. At the top left is the 'EasyBlocks' logo. Below it, the text '初期設定' (Initial Setup) is displayed. The main content area is titled '使用許諾契約書の確認' (Confirmation of Terms of Use). On the left side of this area, there is a tab labeled '使用許諾契約書'. The main text area contains the following content:

EasyBlocks

この契約は、お客様とぶらっとホーム株式会社（以下、当社とします。）との間に締結される契約です。お客様がこの契約に同意できない場合には、本体未開封のまま本製品および付属品一式をご購入先まで返品ください。

第1条 定義

本契約における使用許諾の範囲は、当社製品「EasyBlocks シリーズ」付属の管理ツールをいい、WUI（ウェブ・ユーザー・インターフェース）ソフトウェア製品（以下、本ソフトウェア製品とします。）および取り扱い説明書などの付属資料一式が対象となります。

本契約において「知的財産権」とは、特許権（特許出願権を含む）著作権、ノウハウその他一切の知的創作物に対する権利または法律上の利益をいいます。

第2条 使用許諾

お客様は、本契約の全項目に同意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェアにお

At the bottom of the text area, there are two buttons: '同意する' (I Agree) and '同意しない' (I Do Not Agree).

使用許諾契約書の内容に同意する場合は「同意する」と書かれたボタンをクリックしてください。「同意しない」をクリックした場合、次の画面に進むことは出来ません。

2.2.4. 初期設定

EasyBlocks

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書 同意しない

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード (確認)

操作

保存

管理者アカウントおよびサポートデスクの設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

各設定項目の詳細については、以下の表をご確認ください。

◆ 管理者アカウント

設定項目	説明
ユーザー名	管理インタフェースへのログインに使用します。半角英数字を使用することが出来ます。
パスワード	管理インタフェースへのログインに使用します。半角英数字及び一部の記号(-_.*!)が使用可能です。 ※”(、”)は含みません。
パスワード (確認)	入力したパスワードが意図したとおりの値であることを確認するために、再度、パスワードを入力してください。パスワードと一致しない場合は、再度、設定していただくことになります。

2.2.5. ネットワークの設定

基本

ルーティング

プロキシ

状態

共通設定

ホスト名 (2)

@x) ebsyslog

ドメイン名 (2)

@x) example.org

デフォルトゲートウェイ (2)

DNSサーバ1

DNSサーバ2

DNSサーバ3

サービスネットワーク (eth0)

使用する

☒ はい ☐ いいえ

IPアドレス

192.

168.

254.

254

/

24

(?)

サービスネットワーク (eth1)

使用する

☐ はい ☒ いいえ

サービスネットワーク (eth2)

使用する

☐ はい ☒ いいえ

サービスネットワーク (eth3)

使用する

☐ はい ☒ いいえ

サービスネットワーク (eth4)

使用する

☐ はい ☒ いいえ

サービスネットワーク (eth5)

使用する

☐ はい ☒ いいえ

操作

保存

ネットワークの設定を行います。手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目の値を入力する。
2. 保存ボタンをクリックする。

設定項目は以下のとおりです。

◆ 共通設定

設定項目	説明
ホスト名	ホスト名を入力してください。英数字およびハイフンを使用する事が出来ます。
ドメイン名	ドメイン名を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定してください。
DNS サーバ 1 ～ 3	DNS サーバの IP アドレスを設定してください。DNS サーバが 2 つ以上存在する場合は、DNS サーバ 2 および 3 にも DNS サーバの IP アドレスを入力してください。

◆ サービスネットワーク(eth0～eth5)

設定項目	説明
IP アドレス	サービスネットワークで使用する本装置の IP アドレスを入力してください。

2.2.6. IP ルーティングの設定

EasyBlocks Syslog

ID: admin でログインしています。 | [マイページ](#) | [ログアウト](#)

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンスAirManage技術情報

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、再起動してください。

設定を反映するには、再起動が必要です。

基本ルーティングプロキシ状態

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス

ゲートウェイ

操作

保存

クリア

一覧

ネットワークアドレス

ネットマスク

ゲートウェイ

操作

サービスネットワークに接続した際に、操作端末から本装置にアクセスするために IP ルーティングの設定が必要である場合は、IP ルーティングの設定を行ってください。手順は以下のとおりです。

1. ネットワークタブをクリックする
2. ネットワークタブ内のルーティングタブをクリックする。
3. ネットワークアドレスおよびゲートウェイに、適宜、値を入力し、保存ボタンをクリックする。

保存したルートは画面下部の一覧に表示されます。既に設定したルートの編集や削除を行いたい場合は一覧の「編集/削除」をクリックしてください。設定項目は以下のとおりです。

◆ ターゲットとゲートウェイ

設定項目	説明
ネットワークアドレス	ネットワークアドレスとネットマスク(プレフィックス長)を指定してください。
ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを設定してください。

2.2.7. サービスの設定

設置前に設定を完了したい場合は、サービスの設定を行ってください。設定方法については「3.2 サービス」をご確認ください。

2.2.8. 装置の停止



装置を停止します。手順は以下のとおりです。

1. メンテナンスタブをクリックする。
2. メンテナンスタブの中の停止・再起動タブをクリックする。
3. 「停止・再起動」の「停止」の横にある実行ボタンをクリックする。
4. 停止画面（図 2-b 停止画面参照）に遷移したら、実行ボタンをクリックする。
5. 「本当に実行しますか？」とポップアップが表示されるので、OK をクリックする。
6. ステータスインジケータPWR の青点灯を確認後、電源ケーブルと LAN ケーブルを抜く。



図 2-b 停止画面

2.3. 設置

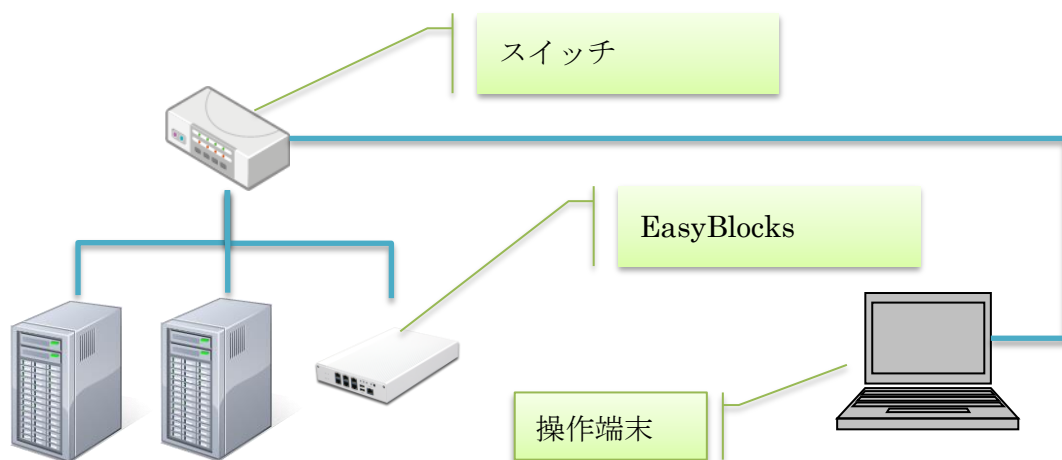


図 2-c 設置例

本装置をサービスネットワークに接続します。手順は以下のとおりです。

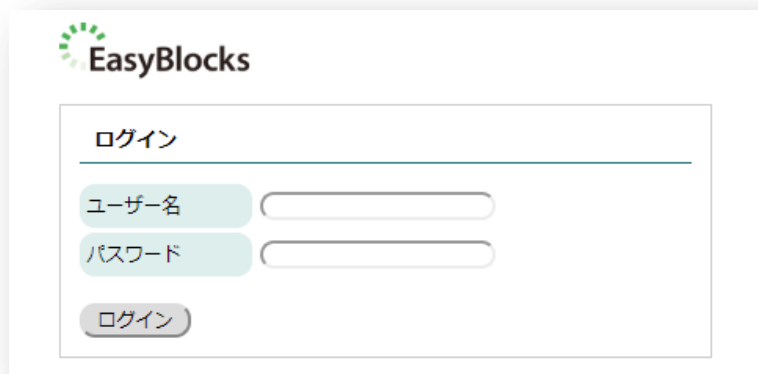
1. 本装置の使用するネットワークインターフェースに LAN ケーブルを接続する。
2. 本装置に接続した LAN ケーブルを、サービスネットワークのスイッチやルータに接続する。

3. 本装置に電源ケーブルを接続する。

3. WEB 操作画面

ログの閲覧、設定変更を行う場合は、操作端末から WEB ブラウザで操作画面を開いてください。手順は以下のとおりです。

1. 操作端末の WEB ブラウザで以下の URL を開く。
`http://<使用ネットワークインターフェースの IP アドレス>:880`
例) <http://192.168.1.1:880>
2. 初期設定で設定したユーザー名およびパスワードを入力し、ログインボタンをクリックする。



EasyBlocks

ログイン

ユーザー名

パスワード

ログイン

図 3-a ログイン画面

3.1. ダッシュボード



システム全体の概要を表示します。各項目の詳細は以下の表のとおりです。

◆ ハードウェアリソース

項目	説明
CPU ロードアベレージ	過去 1 分間、過去 5 分間、過去 15 分間の CPU 負荷平均値です。
メインメモリ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体
ストレージ	表示される内容は以下のとおりです。 使用中/全体

◆ ネットワーク

項目	説明
FQDN	FQDN とは完全修飾ドメインのことです。 ホスト名とドメイン名を結合した値が表示されます。
ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイが表示されます。
IP アドレス(インターフェース名)	各インターフェースに割り当てられた IP アドレスが表示されます。

3.2. サービス

Syslog コレクタ（サーバ）機能の操作画面です。

3.2.1. ログ表示

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンス技術情報

表示統計基本設定フィルタ設定テーブル管理

ログ表示

▼ フィルタ

テーブル (2013年11月) 自動更新 更新 エクスポート

Show (10) entries

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2013-11-07 09:45:01	n07034b	local3	info	easyblocks	Running notice: [uptime] 09:45:01 up 5 days, 21:39, 2 users, load average: 0.00, 0.01, 0.05
2013-11-07 09:35:50	obsax3	daemon	info	dhclient	DHCPREQUEST on eth0 to 172.16.7.11 port 67
2013-11-07 09:35:50	obsax3	daemon	info	dhclient	DHCPACK from 172.16.7.11
2013-11-07 09:35:50	obsax3	daemon	info	dhclient	bound to 172.16.7.168 -- renewal in 1551 seconds.
2013-11-07 09:30:01	n07034b	local3	info	easyblocks	Running notice: [uptime] 09:30:01 up 5 days, 21:24, 2 users, load average: 0.00, 0.01, 0.05
2013-11-07 09:17:01	obsax3	authpriv	err	CRON	pam_env(cron:session): Unable to open env file: /etc/default/locale: No such file or directory
2013-11-07 09:17:01	obsax3	authpriv	info	CRON	pam_unix(cron:session): session opened for user root by (uid=0)
2013-11-07 09:17:01	obsax3	cron	info	/USR/SBIN/CRON	(root) CMD (cd / && run-parts --report /etc/cron.hourly)
2013-11-07 09:17:01	obsax3	authpriv	info	CRON	pam_unix(cron:session): session closed for user root
2013-11-07 09:15:01	n07034b	local3	info	easyblocks	Running notice: [uptime] 09:15:01 up 5 days, 21:09, 2 users, load average: 0.00, 0.01, 0.05

Showing 1 to 10 of 7,070 entries

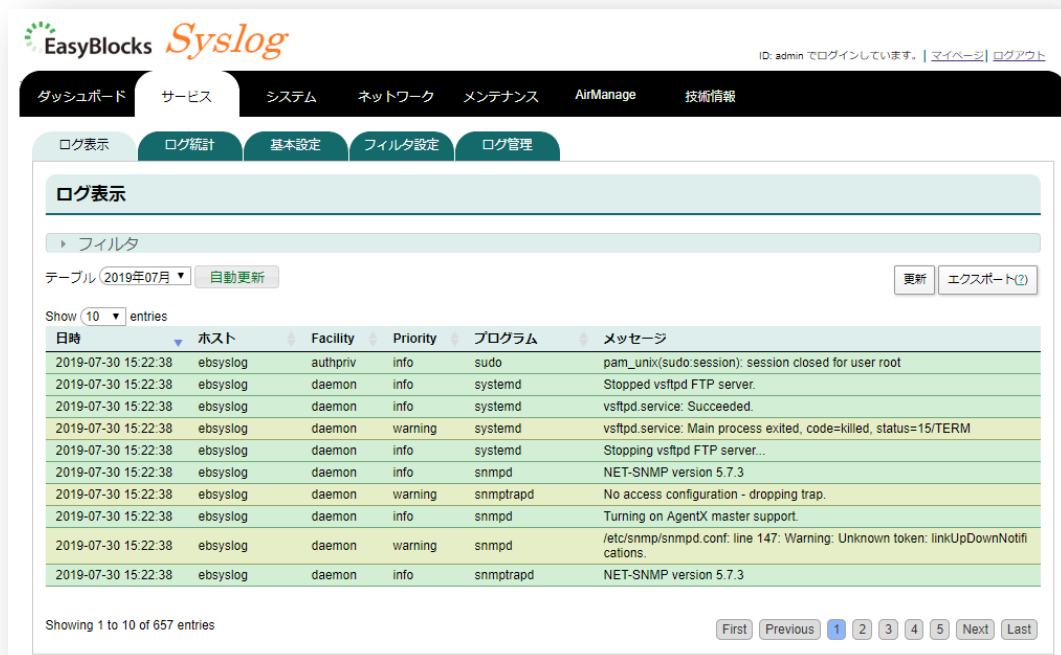
First Previous 1 2 3 4 5 Next Last

Syslog コレクタ（サーバ）機能で収集したログを表示します。表示されるログは Priority ごとに色付けされます。配色は以下のとおりです。

色	Priority
	debug
	info
	notice
	warning
	err
	crit
	alert
	emerg

ログの最大表示件数は全頁合わせて 1000 件までとなっています。それ以前のログを確認したい場合は、後述のフィルタで条件を絞り込んでください。

◆ フィルタ



収集したログにフィルタをかけて表示する機能です。フィルタ設定の手順は以下のとおりです。

1. 「フィルタ」と書かれた文字をクリックする。→フィルタの設定を行うためのフォームが開く。
2. フィルタの設定を行う。
3. 適用ボタンを押す。

設定できるフィルタは以下のとおりです。

フィルタ	説明
起点時刻	日時を対象にフィルタリングを行います。 フィルタをかける起点の時刻を指定してください。 (入力欄をクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから年月日時分秒を指定してください。)
終点時刻	日時でフィルタリングを行います。フィル

	<p>タをかける起点の時刻を指定してください。</p> <p>（入力欄をクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから年月日時分秒を指定してください。）</p>
ホスト	ホストでフィルタリングを行います。ホスト名を完全一致になるように指定してください。
Facility	<p>Facility でフィルタリングを行います。クリックするとボタンの色が変わります。ボタンの色が明るい場合は有効となります。</p> <p>Facility を複数同時に設定した場合は、OR でフィルタリングを行います。</p>
Priority	<p>Priority でフィルタリングを行います。クリックするとボタンの色が変わります。ボタンの色が明るい場合は有効となります。</p> <p>Priority を複数同時に設定した場合は、OR でフィルタリングを行います。</p>
プログラム	プログラムでフィルタリングを行います。プログラム名を完全一致になるように指定してください。
メッセージ	メッセージの文字列でフィルタリングを行います。部分一致となるように指定してください。（複数ワードによるフィルタリングには対応しません。）
除外メッセージ	メッセージの文字列でフィルタリングを行います。指定した文字列が存在しないメッセージを表示します。（複数ワードによるフィルタリングには対応しません。）

※ 複数のフィルタを設定した場合、**AND** でフィルタリングを行います。

◆ テーブル

表示する月を指定することによって、その月のデータを表示することが出来ます。全テーブルを選択することによって、これまでのすべてのデータを表示することも可能です。なお、「全テーブル」の対象となるテーブルを指定したい場合は、後述のテーブル管理をご確認ください。

◆ 自動更新

自動更新を有効にすると、5秒間隔でテーブルに表示する内容を更新します。自動更新ボタンをクリックし、ボタンの色が明るくなると、有効になります。再度クリックし、ボタンの色が暗くなると、無効になります。

◆ 更新

更新ボタンをクリックするとテーブルに表示する内容を更新します。

◆ エクスポート

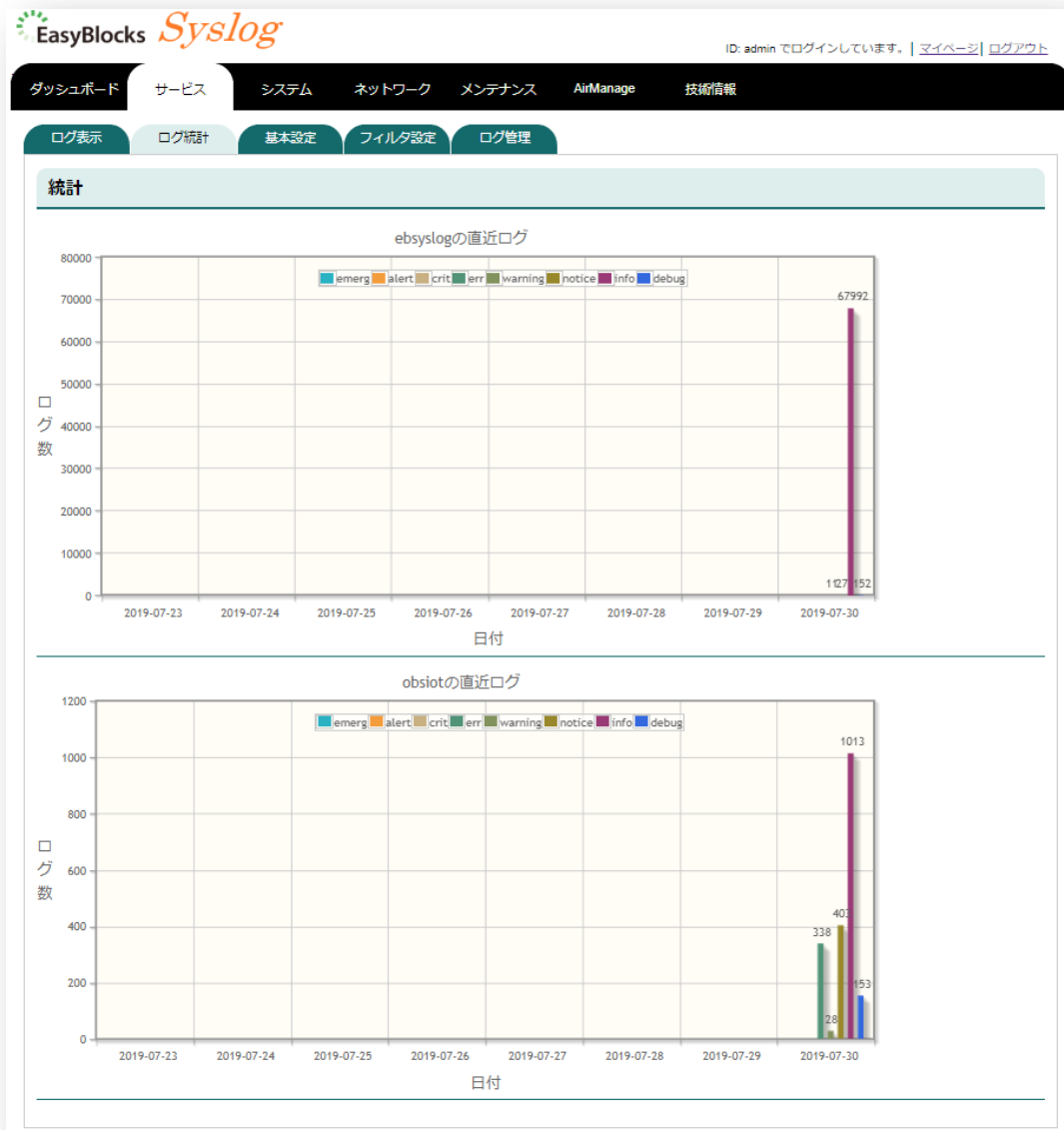
「テーブル」で指定したテーブルを CSV ファイルにエクスポートすることが出来ます。エクスポートにはフィルタリングの結果が反映されます。テーブル内の全データをエクスポートしたい場合は、フィルタ設定のクリアボタンをクリックしてからエクスポートボタンをクリックしてください。

※ エクスポート機能は最大 50 万件分のエクスポート処理が行われます。但し、処理上メモリが足りなくなる場合、メッセージを表示せずにエクスポート処理は中断されます。

◆ 表示件数 (Show × × entries)

一度に表示するレコードの件数を指定できます。10、25、50、100 から選択してください。

3.2.2. 統計



過去 8 日分のホスト別、Priority 別の件数をグラフにして表示します

3.2.3. 基本設定

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス AirManage 技術情報

ログ表示 ログ統計 **基本設定** フィルタ設定 ログ管理

基本設定

機能の有効/無効

syslog受信機能 ☒ 有効 ☐ 無効

自ホストのsyslog ☒ 受け取る ☐ 受け取らない

メール通知 (2)

メール通知を行う ☐ はい ☒ いいえ

SNMP Trap受信(2)

SNMP Trapの受信を行う ☐ はい ☒ いいえ

リソース管理

SNMPエージェント ☐ はい ☒ いいえ

Syslogメッセージ中継 (2)

Syslogサーバへ転送する ☐ はい ☒ いいえ

バックアップ送信 (2)

送信する ☐ はい ☒ いいえ

レポート送信 (2)

送信する ☐ はい ☒ いいえ

FTPサーバ機能 (2)

FTPサーバ機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

フィルタリンク件数表示機能 (2)

件数表示機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

処理エラー通知機能 (2)

処理エラー機能を有効にする ☐ はい ☒ いいえ

操作

保存

Syslog コレクタ（サーバ）とそれに関連する機能の設定を行うページです。以下の手順で設定を行ってください。

1. 設定を変更したい項目の設定値を変更する。
2. 保存ボタンをクリックする。

◆ 機能の有効/無効

機能の有効/無効

syslog受信機能

☒ 有効 ☐ 無効

自ホストのsyslog

☐ 受け取る ☒ 受け取らない

Syslog コレクタ（サーバ）機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
syslog 受信機能	有効/無効	有効にすると、Syslog を受信します。無効にすると、Syslog を受信しません。
自ホストの syslog	受け取る/受け取らない	本装置自身からの Syslog を受信するか否かを決定します。

◆ メール通知

メール通知 (2)

メール通知を行う

☒ はい ☐ いいえ

監視対象文字列 (2)

追加

SMTPサーバポート

: 25

☐ SMTP Authを使う

受信者メールアドレス (2)

送信者メールアドレス (2)

テストメール

送信

指定した文字列にマッチする文字列を含む Syslog メッセージを受信すると自動的にメールを送信する機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
メール通知を行う	はい/いいえ	メール通知機能の有効/無効を決定します。
監視対象文字列	文字列	設定値にマッチする文字列をメッセージに含む Syslog メッセージを受信すると、自動的にメールを送信します。 ※ ホスト、Facility、Priority、プログラムはマッチングの対象にはなりません。

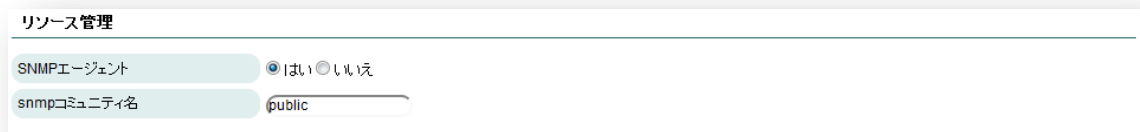
		※ 設定できる文字列は1つです。OR、ANDでの指定は出来ません。
SMTP サーバ：ポート	文字列	メールを送信する際に使用する SMTP サーバ及びポート番号を指定します。 SMTP Auth を用い場合にはチェックボックスにチェックを入れてください。
ユーザ名/パスワード	文字列	SMTP Auth に用いるユーザ名/パスワードを指定します。
受信者メールアドレス	文字列	送信先のメールアドレスを指定します。
送信者メールアドレス	文字列	送信元のメールアドレスを指定します。
テストメール	-	フォームに入力している情報を元にテストメールを送信します。

◆ SNMP Trap 受信

SNMP Trap を受信して Syslog として表示する機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
SNMP Trap の受信を行う	はい/いいえ	SNMP Trap を受信するか否かを決定します。
snmp コミュニティ名	文字列	Trap を受信するコミュニティ名を指定します。 ※最大 5 件まで登録できます。

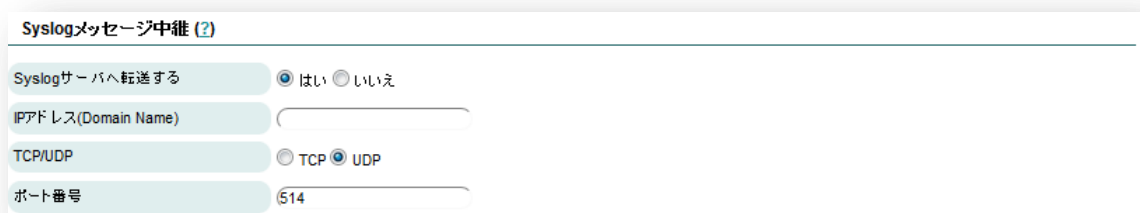
◆ リソース管理



SNMP エージェント機能です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
SNMP エージェント	はい/いいえ	SNMP エージェント機能を有効にするか否かを決定します。
snmp コミュニティ名	文字列	SNMP エージェントのコミュニティ名を指定します。

◆ Syslog メッセージ中継



受信した Syslog メッセージを他の Syslog サーバに中継する機能です。本機能を使用した場合であっても、本装置には受信した Syslog メッセージを保存します。

設定項目	設定値	説明
Syslog サーバへ転送する	はい/いいえ	Syslog サーバへ転送するか否かを決定します。
IP アドレス (Domain Name)	IP アドレス/ドメイン名	中継先の Syslog サーバの IP アドレスかドメイン名を指定します。
TCP/UDP	TCP/UDP	レイヤ 4 プロトコルを選択します。中継先のサーバが許容するプロトコルを選択してください。

ポート番号	数値	中継先のサーバの待ち受けポートを入力してください。
-------	----	---------------------------

◆ バックアップ送信

月初に前月のデータのバックアップを FTP サーバへ転送する機能です。バックアップファイルの形式は MySQL のダンプファイルと同等です。設定項目は以下のとおりです。

設定項目	設定値	説明
送信する	はい いいえ	バックアップ送信するか否かを決定します。
サーバ URL	文字列	FTP サーバの URL を指定します。以下の形式で入力してください。 ftp://<ドメインネーム IP アドレス>ディレクトリ名 例 1)ftp://ftp.plathome.co.jp 例 2)ftp://ftp.plathome.co.jp/ftp/ ※ディレクトリを指定する場合は必ず最後に「/」を入れてください。
FTP ユーザ名	文字列	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
FTP パスワード	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。
FTP 接続確認	-	設定しているサーバ URL、FTP ユーザ名、FTP パスワードにて、接続確認を行います。

◆ レポート送信

レポート送信 (2)

送信する

☒ はい ☐ いいえ

サーバURL (2)

(ex) ftp://example.com/foo/bar/

FTPユーザ名

FTPパスワード

前日のデータを CSV 形式にして FTP サーバに送信する機能です。

設定項目	設定値	説明
送信する	はい/いいえ	レポート送信の有効/無効。
サーバ URL	文字列	FTP サーバの URL を指定します。以下の形式で入力してください。 ftp:// ドメインネーム <i>or</i> IP アドレス/ディレクトリ/ 例 1)ftp://ftp.plathome.co.jp 例 2)ftp://ftp.plathome.co.jp/ftp/ ※ディレクトリを指定する場合は必ず最後に「/」を入れてください。
FTP ユーザ名	文字列	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
FTP パスワード名	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。
FTP 接続確認	-	設定しているサーバ URL、FTP ユーザ名、FTP パスワードにて、接続確認を行います。

◆ FTP サーバ機能

FTPサーバ機能 (2)

FTPサーバ機能を有効にする

☒ はい ☐ いいえ

パスワード

.....

FTP を利用してダンプファイルのアップロードを行うための機能です。

設定項目	設定値	説明
有効にする	はい/いいえ	FTP サーバ機能の有効/無効。
パスワード	文字列	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。

以下の設定で FTP 接続を行ってください。

ユーザー名	ftpuser
パスワード	設定したパスワード
接続先 IP アドレス	ネットワークタブにて設定した IP アドレス

※ 本機能は HTTP でアップロードできないサイズのダンプファイルをアップロードするための機能です。

・Windows のエクスプローラから日本語のファイルのアップロードを行うと正常にファイルが取り扱えません。そのため、FTP クライアントツール(Filezilla 等)を用いてください。

・FTP のルートディレクトリには書き込み権限はありません。そのため、files ディレクトリ配下にてファイル作成及びディレクトリ作成を行ってください。

◆ フィルタリング件数表示機能

フィルタリング件数表示機能 (2)

件数表示機能を有効にする ☒ はい ☐ いいえ

フィルタリング実施時に対象となった件数を表示する機能です。

設定項目	設定値	説明
件数表示機能を有効にする	はい/いいえ	フィルタリング後の件数表示機能の有効/無効。

- ・本機能を有効にした場合、件数取得に時間がかかり表示までの描写に時間がかかることがあります。本機能を使用したい場合にのみ、適用してください。

◆ 処理エラー通知機能

レポート送信やバックアップ送信の失敗、起動時の DB 破損等が発生した場合にエラー通知のメールを送信する機能です。

設定項目	設定値	説明
処理エラーメール通知を行う	はい/いいえ	処理エラーメール通知機能の有効/無効を決定します。
SMTP サーバ : ポート	文字列	メールを送信する際に使用する SMTP サーバ及びポート番号を指定します。 SMTP Auth を用い場合にはチェックボックスにチェックを入れてください。
ユーザ名/パスワード	文字列	SMTP Auth に用いるユーザ名/パスワードを指定します。
受信者メールアドレス	文字列	送信先のメールアドレスを指定します。
送信者メールアドレス	文字列	送信元のメールアドレスを指定します。
テストメール	-	フォームに入力している情報を元にテストメールを送信します。

3.2.4. フィルタ設定

ログ表示 ログ統計 基本設定 フィルタ設定 ログ管理

フィルタ設定

フィルタリングルール

rule0

ルール名(?)

起点時刻

終点時刻

ホスト(?)

Facility

Priority

プログラム(?)

メッセージ(?)

除外メッセージ(?)

rule1

rule2

rule3

rule4

rule5

rule6

rule7

rule8

rule9

操作

保存

フィルタリングルールを保存することが出来ます。保存したルールは表示画面のフィルタで読み込み事が可能です。設定項目は表示のフィルタと同様です。設定後、save ボタンを押すことによって、保存する事が出来ます。

フィルタリングルールを表示に適用する手順は以下のとおりです。

1. フィルタ設定でフィルタリングルールを設定し、保存ボタンを押す。

エラー

ルール名(?)

起点時刻

終点時刻

ホスト(?)

Facility

Priority

プログラム(?)

メッセージ(?)

除外メッセージ(?)

- 表示タブをクリックして表示画面を開き、先ほど設定したフィルタリングルールを選択する。

The screenshot shows a web-based log management interface. At the top is a navigation bar with tabs: ダッシュボード, サービス, システム, ネットワーク, メンテナンス, AirManage, and 技術情報. Below this is a sub-navigation bar with tabs: ログ表示 (selected), ログ統計, 基本設定, フィルタ設定, and ログ管理.

The main section is titled "ログ表示" (Log Display). It contains a "フィルタ" (Filter) section with the following fields:

- フィルタリングルール (2): A dropdown menu.
- 起点時刻 (Start Time): A text input field.
- 終点時刻 (End Time): A text input field with a blue "エラー" (Error) button next to it.
- ホスト (2) (Host): A text input field.
- Facility: A row of buttons including kern, user, mail, daemon, auth, syslog, lpr, news, uucp, cron, and authpriv.
- Priority: A row of buttons including ftp, local0, local1, local2, local3, local4, local5, local6, local7, emerg, alert, crit, err, warning, notice, info, and debug.
- プログラム (2) (Program): A text input field.
- メッセージ (2) (Message): A text input field.
- 除外メッセージ (2) (Exclude Message): A text input field.

Below the filter section are buttons for "適用" (Apply) and "クリア" (Clear).

Below the filter section is a table header section with a "テーブル" (Table) label, a date selector set to "2019年07月", and an "自動更新" (Auto Update) button. On the right are buttons for "更新" (Update) and "エクスポート" (Export).

The table shows log entries with the following columns: 日時 (Date/Time), ホスト (Host), Facility, Priority, プログラム (Program), and メッセージ (Message). The entries are filtered to show only "kernel" messages from "obsiot" host.

日時	ホスト	Facility	Priority	プログラム	メッセージ
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	info	kernel	[3104575.267914] cdc_acm 1-1.2:1.12: ttyACM6: USB ACM device
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	err	kernel	[3104575.267602] cdc_acm 1-1.2:1.12: This device cannot do calls on its own. It is not a modem.
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	info	kernel	[3104575.261978] cdc_acm 1-1.2:1.10: ttyACM5: USB ACM device
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	err	kernel	[3104575.261668] cdc_acm 1-1.2:1.10: This device cannot do calls on its own. It is not a modem.
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	info	kernel	[3104575.259060] cdc_acm 1-1.2:1.8: ttyACM4: USB ACM device
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	err	kernel	[3104575.256575] cdc_acm 1-1.2:1.8: This device cannot do calls on its own. It is not a modem.
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	info	kernel	[3104575.243656] cdc_acm 1-1.2:1.6: ttyACM3: USB ACM device
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	err	kernel	[3104575.243352] cdc_acm 1-1.2:1.6: This device cannot do calls on its own. It is not a modem.
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	info	kernel	[3104575.241131] cdc_acm 1-1.2:1.4: ttyACM2: USB ACM device
2019-07-30 16:19:06	obsiot	kern	err	kernel	[3104575.240820] cdc_acm 1-1.2:1.4: This device cannot do calls on its own. It is not a modem.

At the bottom, it says "Showing 1 to 10 of 89,658 entries" and has pagination controls: First, Previous, 1 (selected), 2, 3, 4, 5, Next, Last.

図 3-b フィルタリングルールを選択



3.2.5. ログ管理

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンスAirManage技術情報

ログ表示ログ統計基本設定フィルタ設定ログ管理

ログ管理

テーブル管理更新

テーブル	状態	検索対象	削除	ダンプ	修復
2016年05月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2019年07月	検索/書込	変更不可	変更不可	ダンプ不可	修復不可

ファイル管理 (2)

files

logs_201901.sql.gz
logs_201902.sql.gz
logs_201903.sql.gz
logs_201904.sql.gz
logs_201905.sql.gz
logs_201906.sql.gz

更新ダウンロードリストア削除

アップロードファイルを選択選択され...ません

データベース管理

初期化

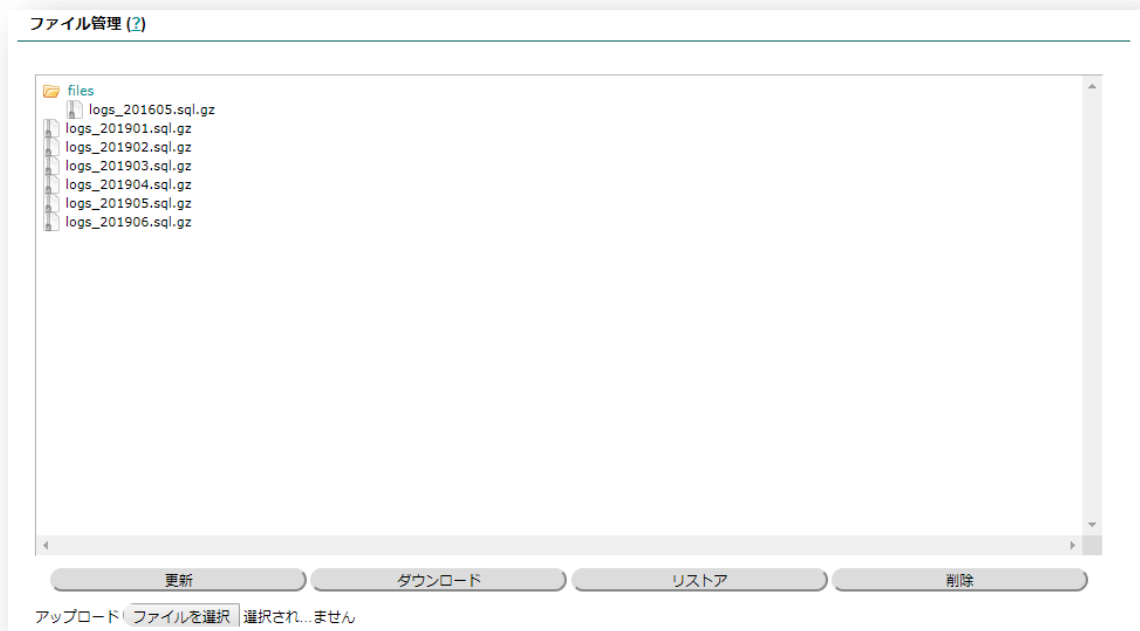
◆ テーブル管理

テーブル管理 更新					
テーブル	状態	検索対象	削除	ダンプ	修復
2016年05月	検索	<input checked="" type="checkbox"/>	削除	ダンプ	修復
2019年07月	検索/書込	変更不可	変更不可	ダンプ不可	修復不可

テーブルを管理するための表です。表の内容は以下のとおりです。更新ボタンにより、リストア失敗等にてテーブル管理に表示されないテーブルを反映させることができます。

項目	説明
テーブル	年月が表示されます。
状態	検索対象にチェックを入れると「検索」になります。チェックをはずすと「無効」になります。状態が「待機」になっている場合は処理中です。当月分のテーブルの状態は「検索/書き込み」になります。
検索対象	当該テーブルがログ表示のテーブルに含まれるか否かを指定します。
削除	テーブルを削除します。当月分のテーブルを削除することは出来ません。
ダンプ	ボタンを押すと、本装置内にダンプファイルを作成します。ダンプが完了すると、ダンプファイル(files/logs_yyyymm.sql.gz)がファイル管理の UI に表示されます。後述のファイル管理機能でダウンロード、アップロード、リストアを行うことが可能です。当月分のテーブルをダンプすることは出来ません。
修復	ボタンを押すと、当該テーブルのインデックス情報を修復します。当月分のテーブルを修復することは出来ません。

◆ ファイル管理



ダンプファイルを管理するためのインタフェースです。以下の操作が可能です。

目的	操作
ファイルのダウンロード	ダウンロードしたいファイルをクリックし、ダウンロードボタンをクリックしてください。
ファイルのアップロード	<p>ファイル管理下部の「アップロード」という文字の横にあるボタン（ボタンの表示は「参照」、「ファイルを選択」など）をクリックして、ファイルを選択してください。アップロードが完了するとファイル管理画面は更新されますが、更新されない場合は、更新ボタンをクリックしてください。</p> <p>アップロードできるファイルサイズの上限は 256MB です。それ以上のサイズのファイルをアップロードする場合は、FTP サーバ機能をご利用ください。</p> <p>※アップロード時は files ディレクトリと</p>

	同階層にファイルが置かれます。
ダンプファイルからのリストア	リストアしたいファイルをクリックし、リストアボタンを押してください。なお、リストアするファイルに対応するテーブルが既にある場合はリストア出来ません。
ファイルの削除	ファイルを削除します。削除したいファイルをクリックし、削除ボタンをクリックしてください。

◆ データベース管理

データベース管理

初期化

データベースを管理するためのインタフェースです。以下の操作が可能です。

目的	操作
データベースの初期化 (データベースを工場出荷時と同じ状態に戻します。)	初期化ボタンをクリックしてください。確認ダイアログが表示されますので、データベースの内容を全て削除しても問題ない場合は OK をクリックしてください。

3.3. システム

3.3.1. 時刻設定

ダッシュボード

サービス

システム

ネットワーク

メンテナンス

AirManage

技術情報

時刻設定

マイページ

EasyBlocks

S/N

時刻設定 (?)

PCと時刻を同期 (?)2019/07/30 16:51:30同期

ntpサーバ1 (?)

オプション:prefer maxpoll 10 (?)

ntpサーバ2

オプション:

ntpサーバ3

オプション:

タイムゾーンAsia/Tokyo

操作

保存

ntpq -p更新

remote	refid	st	t	when	poll	reach	delay	offset	jitter
*LOCAL(1)	.LOCL.	10	1	36	64	377	0.000	0.000	0.000

ntpdate

時刻同期先サーバ

実行

◆ 時刻設定

時刻設定 (?)

PCと時刻を同期 (?)2019/07/30 16:51:30同期

ntpサーバ1 (?)

オプション:prefer maxpoll 10 (?)

ntpサーバ2

オプション:

ntpサーバ3

オプション:

タイムゾーンAsia/Tokyo

操作

保存

本装置の時刻設定です。

PC と時刻を同期する場合の手順は以下のとおりです。

1. PC と時刻を同期の横の同期ボタンをクリックする。

NTP サーバを指定する場合の手順は以下のとおりです。

1. ntp サーバ 1 に NTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を入力する。
2. 複数の NTP サーバを指定する場合は、ntp サーバ 2、ntp サーバ 3 に NTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を入力する。
3. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。

◆ 付随情報、設定

ntpq -p 更新

remote	refid	st	t	when	poll	reach	delay	offset	jitter
*LOCAL(1)	.LOCAL.	10	1	26	64	1	0.000	0.000	0.004

ntpdate

時刻同期先サーバ実行

以下のコマンドの結果を確認する事が出来ます。

- ntpq -p

また、ntpddate 機能にてサーバと時刻同期を行えます。

本画面の設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
PC と時刻を同期	本装置の時刻を操作端末の時刻と同じ値に設定します。
NTP サーバ 1 ～ 3	NTP サーバの IP アドレスまたは FQDN を設定します。3 台まで設定可能です。オプションには ntp.conf のオプション(burst や iburst オプション)と同等のものが使えます。


タイムゾーン	本装置の時刻のタイムゾーンを設定します。デフォルトは”Asia/Tokyo”となります。
--------	--

3.3.2. その他



The screenshot shows the 'System' tab selected in the top navigation bar. Below it, the 'Other' sub-tab is active. The 'Other' section contains two monitoring items: 'Process Monitoring (?)' and 'Storage Capacity Monitoring (?)', both set to 'Inactive' (無効). Below these is an 'Operation' (操作) section with a 'Save' (保存) button.

◆ その他



This is a close-up of the 'Other' section. It shows the 'Process Monitoring (?)' and 'Storage Capacity Monitoring (?)' items, both with a dropdown menu set to 'Inactive' (無効). Below them is the 'Operation' (操作) section with a 'Save' (保存) button.

EasyBlocks の安定システム稼働におけるプロセスチェック及びストレージ容量監視を定期的(3 分毎)に行います。プロセス監視は意図しないプロセスの終了時にアラートが発生します。また、ストレージ容量監視は 70%を超えた場合にアラートが発生します。アラート内容はダッシュボードに表示されます。また、AirManage を使用している場合、AirManage 側にもアラートが上がるようになっています。

3.3.3. マイページ

ダッシュボード サービス システム ネットワーク メンテナンス AirManage 技術情報

時刻設定 マイページ EasyBlocks S/N

登録情報の編集

ユーザー名 admin

パスワード

パスワード(確認用)

操作

保存 クリア

◆ 登録情報の編集

登録情報の編集

ユーザー名 admin

パスワード

パスワード(確認用)

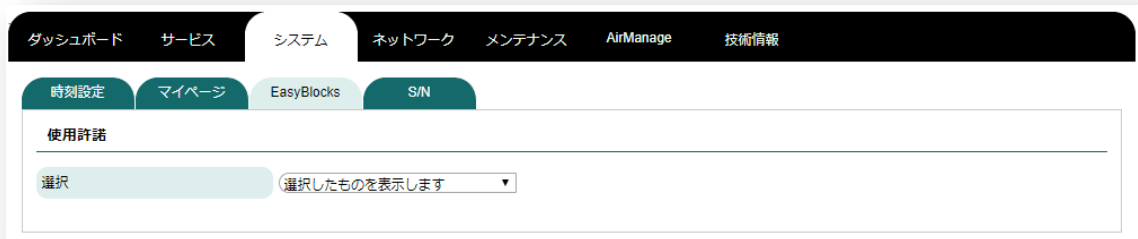
本装置の操作画面にログインするためのアカウントの設定です。パスワードのみ変更する事が出来ます。設定の手順は以下のとおりです。

1. パスワード及びパスワード(確認用)を入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。

尚、パスワードに使用可能な文字は半角英数字及び記号(-_.*!)となります。

※” (”、”) ” は使用可能な文字に含みません。

3.3.4. EasyBlocks



◆ 使用許諾

本装置で使用しているソフトウェアのライセンス情報を見ることが出来ます。

3.3.5. S/N



◆ 本体シリアル番号

EasyBlocks 本体のシリアル番号を確認することができます。

3.4. ネットワーク

3.4.1. 基本

The screenshot shows a web interface for network configuration. At the top is a navigation bar with tabs: ダッシュボード, サービス, システム, ネットワーク (selected), メンテナンス, AirManage, and 技術情報. Below this is a sub-navigation bar with tabs: 基本 (selected), ルーティング, プロキシ, and 状態. The main content area is titled '共通設定' (Common Settings) and contains the following sections:

- 共通設定**
 - ホスト名 (2): ebsyslog
 - ドメイン名 (2): example.org
 - デフォルトゲートウェイ (2): 172.16.7.1
 - DNSサーバ1: [Empty]
 - DNSサーバ2: [Empty]
 - DNSサーバ3: [Empty]
- サービスネットワーク (eth0)**
 - 使用する: ☒ はい ☐ いいえ
 - IPアドレス: 172.16.7.228 / 24 (2)
- サービスネットワーク (eth1)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- サービスネットワーク (eth2)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- サービスネットワーク (eth3)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- サービスネットワーク (eth4)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- サービスネットワーク (eth5)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- 操作**
 - 保存

ネットワーク設定を行う画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。
3. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ホスト名	本装置に割り当てるホスト名を入力してください。使用できる文字は英数字とハイフンです。
ドメイン名	本装置を設置したネットワークのドメイン名を入力してください。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力してください。
DNS サーバ 1 ～ 3	名前解決に使用する DNS サーバの IP アドレスを指定してください。複数の DNS サーバを指定する場合は、DNS サーバ 2 および DNS サーバ 3 にも DNS サーバの IP アドレスを入力してください。

◆ サービスネットワーク (eth0～)

サービスネットワーク (Ether-0)

IPアドレス / (?)

ネットワークインターフェースに IP アドレスを割り当てるための画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. サービスネットワークとして使用するインターフェースの「使用する」欄のラジオボタンを選択する。
2. 各設定項目に値を入力する。
3. 画面下部、操作の保存ボタンをクリックする。
4. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
IP アドレス	本装置の該当ネットワークインターフェースに割り当てる IP アドレスとネットマスク（プレフィックス長）を指定してください。

3.4.2. ルーティング

ターゲットとゲートウェイ

ネットワークアドレス

ゲートウェイ

操作

一覧

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
------------	--------	--------	----

静的ルーティング設定を行う画面です。設定の手順は以下のとおりです。

1. 各設定項目に値を入力する。
2. 操作の保存ボタンをクリックする。
3. 再起動を行う。

保存が完了すると、画面下部の一覧に設定した内容が反映されます。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
ネットワークアドレス	パケットの送信先のネットワークアドレスとネットマスク（プレフィックス長）を指定してください。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスを入力してください。

3.4.3. プロキシ

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンスAirManage技術情報

基本ルーティングプロキシ状態

Proxyサーバ (必要な場合)

アドレス:ポート

http:// proxy.example.org : 8080

BASIC認証(必要な場合)

ユーザーID: username パスワード: password

非Proxyアクセスホスト

127.0.0.1,localhost

操作

保存

◆ Proxy サーバ

Proxyサーバ (必要な場合)

アドレス:ポート

http:// proxy.example.org : 8080

BASIC認証(必要な場合)

ユーザーID: username パスワード: password

非Proxyアクセスホスト

127.0.0.1,localhost

外部への WEB アクセスに HTTP proxy を経由する必要がある環境では、本装置のソフトウェアのオンラインアップデートやレポート送信及びバックアップ送信に本設定が必要となります。設定の手順は以下のとおりです。

- 1. 各設定項目に値を入力する。
- 2. 操作の保存ボタンをクリックする
- 3. 再起動を行う。

設定項目は以下のとおりです。

項目	説明
アドレス：ポート	HTTP proxy の URL とポート番号を入力してください。
BASIC 認証	HTTP proxy に認証が必要である場合は、ユーザーID とパスワードを入力してください。

<p>非 Proxy アクセスホスト</p>	<p>HTTP proxy を非経由でアクセスする際に用いるホストを”,”切りにて指定します。 FTP サーバーが内部ネットワークの場合にご指定下さい。</p> <p>尚、AirManage の機能にて HTTP 通信を行っている為、HTTP プロキシを使用する場合には”localhost,127.0.0.1”を設定してください。</p>
------------------------	---

3.4.4. 状態

ダッシュボードサービスシステムネットワークメンテナンスAirManage技術情報

基本ルーティングプロキシ状態

状態

ifconfig

eth0: flags=4163 mtu 1500
inet 172.16.7.228 netmask 255.255.255.0 broadcast 172.16.7.255
inet6 fe80::260:e0ff:fe8a:226 prefixlen 64 scopeid 0x20
ether 00:60:e0:8a:02:26 txqueuelen 1000 (Ethernet)
RX packets 252280 bytes 20568397 (19.6 MiB)
RX errors 0 dropped 33205 overruns 0 frame 0
TX packets 11944 bytes 7053900 (6.7 MiB)
TX errors 0 dropped 0 overruns 0 carrier 0 collisions 0
device memory 0xdfd00000-dfd7ffff

lo: flags=73 mtu 65536
inet 127.0.0.1 netmask 255.0.0.0
inet6 ::1 prefixlen 128 scopeid 0x10
loop txqueuelen 1000 (Local Loopback)
RX packets 16 bytes 1493 (1.4 KiB)
RX errors 0 dropped 0 overruns 0 frame 0
TX packets 16 bytes 1493 (1.4 KiB)
TX errors 0 dropped 0 overruns 0 carrier 0 collisions 0

ip addr

1: lo: mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN group default qlen 1000
link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00:00
inet 127.0.0.1/8 scope host lo
valid_lft forever preferred_lft forever
inet6 ::1/128 scope host
valid_lft forever preferred_lft forever
2: eth2: mtu 1500 qdisc noop state DOWN group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:28 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
3: eth3: mtu 1500 qdisc noop state DOWN group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:29 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
4: eth4: mtu 1500 qdisc noop state DOWN group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:2a brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
5: eth5: mtu 1500 qdisc noop state DOWN group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:2b brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
6: eth0: mtu 1500 qdisc mq state UP group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:26 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
inet 172.16.7.228/24 brd 172.16.7.255 scope global eth0
valid_lft forever preferred_lft forever
inet6 fe80::260:e0ff:fe8a:226/64 scope link
valid_lft forever preferred_lft forever
7: eth1: mtu 1500 qdisc noop state DOWN group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:8a:02:27 brd ff:ff:ff:ff:ff:ff

netstat -nr

Kernel IP routing table
Destination Gateway Genmask Flags MSS Window irtt Iface
0.0.0.0 172.16.7.1 0.0.0.0 UG 0 0 0 eth0
172.16.7.0 0.0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth0

arp -an

? (172.16.7.1) at 00:a0:de:85:73:41 [ether] on eth0
? (172.16.7.184) at 00:0a:85:0f:ff:15 [ether] on eth0
? (172.16.7.178) at 00:0a:85:10:00:20 [ether] on eth0
? (172.16.7.223) at 00:60:e0:8a:00:46 [ether] on eth0
? (172.16.7.116) at d0:50:99:1a:14:cb [ether] on eth0
? (172.16.7.133) at 00:60:e0:65:78:6f [ether] on eth0

/etc/hosts

::1 localhost
127.0.0.1 localhost
127.0.0.1 ebsyslog
127.0.0.1 ebsyslog.example.org

/etc/resolv.conf

domain hqc.plathome.co.jp
search hqc.plathome.co.jp
nameserver 172.16.13.11
nameserver 172.16.2.6

以下のコマンドの結果を確認する事が出来ます。

- ifconfig

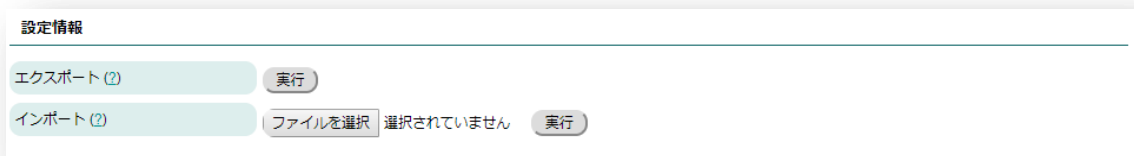
- `ip addr`
- `netstat -nr`
- `arp -an`
- `cat /etc/hosts`
- `cat /etc/resolv.conf`

3.5. メンテナンス

3.5.1. 設定



◆ 設定情報



設定のエクスポートとインポートを行う画面です。

設定のエクスポートの手順は以下のとおりです。

1. 「エクスポート」の横の実行ボタンをクリックする。
2. ファイル名「easybox_webui.conf」のダウンロードが開始される。ブラウザによっては保存するか開くかを問われるので「保存する」を選択する。

※ 保存される場所はブラウザや OS に依存します。

設定のインポートの手順は以下のとおりです。

1. 「インポート」の横にある参照ボタンをクリックする。
2. 設定ファイル（easybox_webui.conf 等）を選択する。
3. 「インポート」の横にある実行ボタンをクリックする。

4. 画面上部に「設定を反映するには、再起動が必要です。」と表示されたら、その文字列の「再起動」をクリックする。
5. 停止・再起動画面が表示されるので、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
6. 再起動画面が表示されるので、実行ボタンをクリックする。
7. ポップアップで「本当に実行しますか？」と確認されるので、OK をクリックする。



図 3-d インポート実行後



図 3-e 停止・再起動画面



図 3-f 再起動画面



図 3-g ポップアップ

3.5.2. システムの更新



本装置のソフトウェアのアップデートを行う画面です。

◆ アップデート - オンライン

オンラインアップデートの手順は以下のとおりです。尚、オンラインアップデートは AirManage サービスを使用している必要があります。そのため、事前に AirManage サービスへ加入してください。

1. 「オンライン」の横の「更新有無を確認」をクリックする。
2. 「オンライン」の横に「更新があります」と表示された場合、「更新予約をする」と書かれたボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されるので OK をクリックする。
4. 停止・再起動画面が表示されたら、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
5. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
6. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。
7. ログイン画面が表示されるまで待つ。
8. 再度、更新有無を確認し、「更新はありません」と表示されることを確認する。
9. 更新がある場合は、再度、アップデートを実行する。



図 3-h 更新がある場合



図 3-i 更新予約の通知



図 3-j 停止・再起動画面



図 3-k 再起動画面

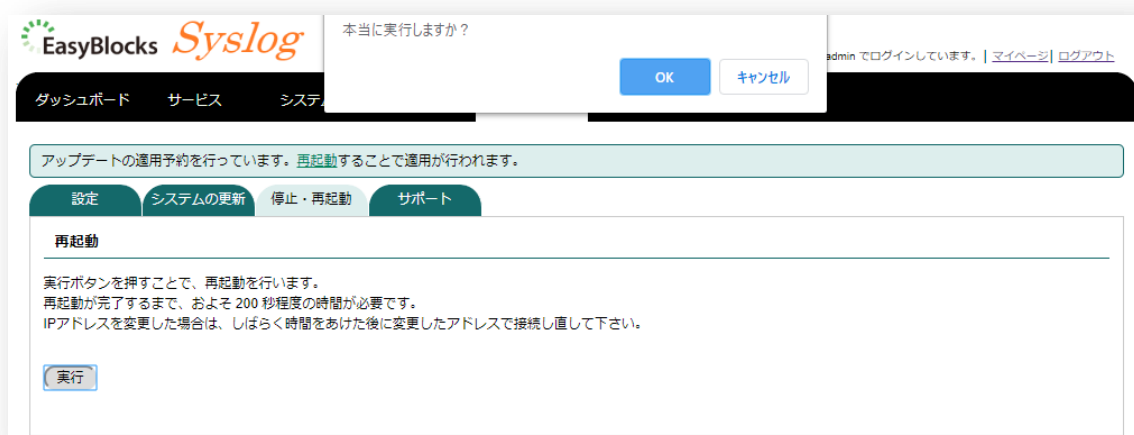


図 3-1 再起動の確認ポップアップ



図 3-m 再起動中



◆ アップデート - オフライン

オフラインアップデートの手順は以下のとおりです。

1. ユーザーサイトからオフラインアップデートファイルをダウンロードする。
2. 「オフライン」の横の参照ボタンをクリックする。
3. 先ほど解凍したファイルを選択する。
4. ファイル名の横の実行ボタンをクリックする。
5. 「アップデートの適用予約を行っています。再起動することで適用が行われます。」と表示されたら、その文字列の再起動をクリックする。
6. 停止・再起動画面が表示されたら、「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
7. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
8. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。

9. ログイン画面が表示されるまで待つ。
10. ログイン画面の右下のバージョン番号がアップデートファイルのバージョン番号と一致する事を確認する。



図 3-n ファイルの選択



図 3-o 適用予約通知



図 3-p 停止・再起動画面



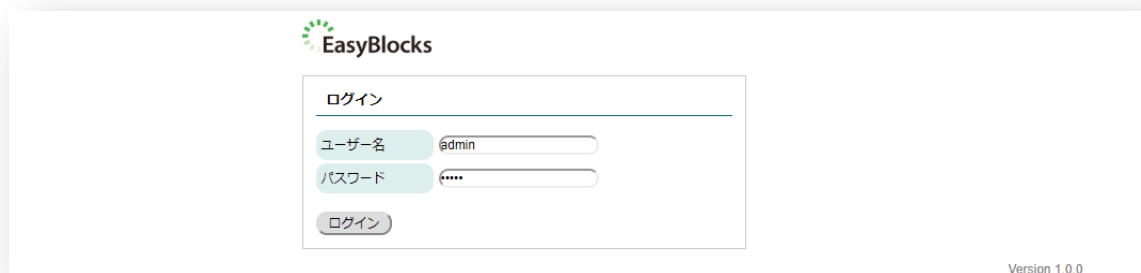
図 3-q 再起動画面



図 3-r 再起動確認ポップアップ



図 3-s 再起動中



The image shows a login interface for 'EasyBlocks'. At the top left is the 'EasyBlocks' logo, which consists of a green circular icon with dots and the text 'EasyBlocks'. Below the logo is a white rectangular box containing the login form. The form has a title 'ログイン' (Login) at the top. It includes two input fields: 'ユーザー名' (Username) with the value 'admin' and 'パスワード' (Password) with masked characters '*****'. Below these fields is a 'ログイン' (Login) button. In the bottom right corner of the white box, the text 'Version 1.0.0' is displayed.

EasyBlocks

ログイン

ユーザー名 admin

パスワード *****

ログイン

Version 1.0.0

図 3-t ログイン画面

3.5.3. 停止・再起動



本装置の停止・再起動を行う画面です。

◆ 停止

停止の手順は以下のとおりです。

1. 「停止」の横の実行ボタンをクリックする。
2. 停止画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。
4. PWR LED が青色点灯したら、電源ケーブルを抜く。



図 3-n 停止画面



図 3-o 停止確認ポップアップ

◆ 再起動

停止の手順は以下のとおりです。

1. 「再起動」の横の実行ボタンをクリックする。
2. 再起動画面が表示されたら、実行ボタンをクリックする。
3. 確認のポップアップが表示されたら、OK をクリックする。



図 3-p 再起動画面

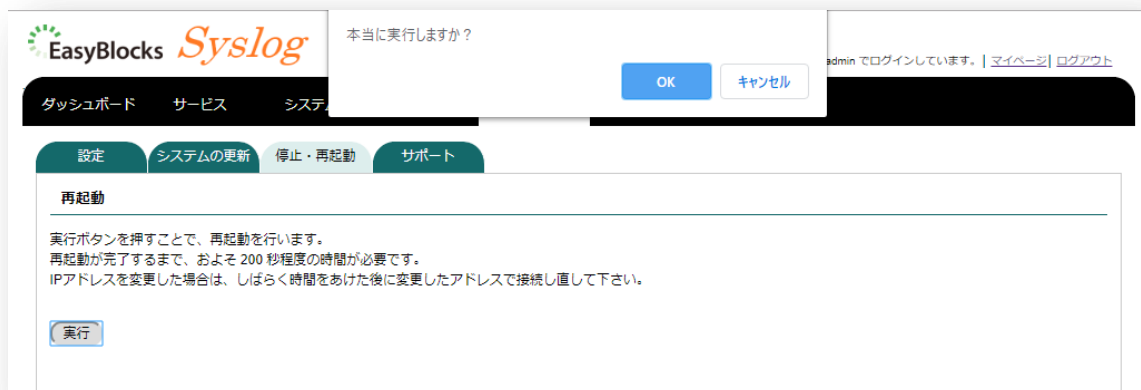


図 3-q 再起動確認ポップアップ

3.5.4. サポート



◆ 問い合わせ先

弊社サポートの連絡先を記載しております。サポートが必用な際に、ご連絡ください。

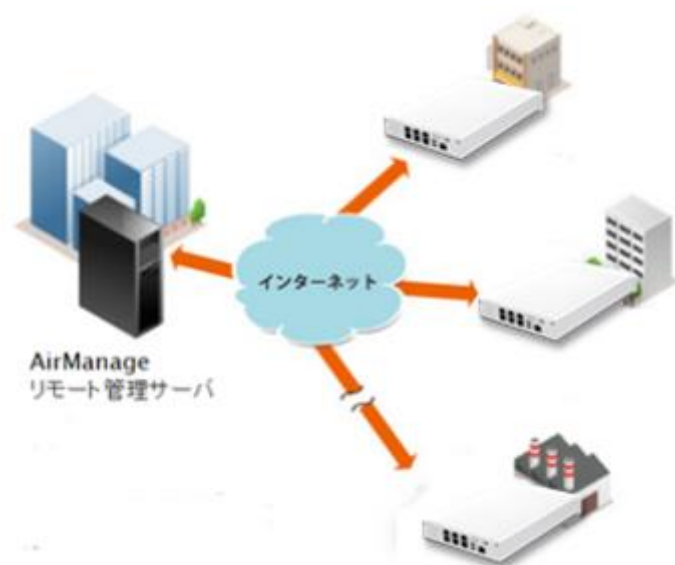
◆ ログ・環境情報取得

ログ・環境情報を取得する機能です。サポートへお問い合わせいただいた場合、ログの収集をお願いすることがあります。その際は、こちらの実行ボタンをクリックして、ファイルをダウンロードしてください。

3.6. AirManage

AirManage は遠隔地に配備した EasyBlocks を管理する機能です。

AirManage はインターネット上に用意している AirManage リモート管理サーバと各 EasyBlocks 間で通信を行い、各 EasyBlocks の管理や制御等を行います。



3.6.1. AirManage

AirManage サービスを使用する場合には、事前に AirManage リモート管理サーバ側に EasyBlocks を登録する必要があります。登録が未完了の場合や確認を行いたい場合は「AirManage 登録」を先に実施してください。

AirManage
AirManage登録

AirManage

使用設定

☐ 使用する
☒ 使用しない

操作

保存

AirManage
AirManage登録

AirManage

使用設定

☒ 使用する
☐ 使用しない

Caution) 設定を保存すると本項目は適用されます。そのため、サービス有効状態のまま保存すると再適用されますのでご注意ください。

適用方法

☒ サービス加入のみ
☐ ゼロコンフィグ(ネットワーク設定保持)
☐ ゼロコンフィグ

サービス適用URL

https://am00.plathome.co.jp/keys/download

事前確認

確認

操作

保存

使用設定	AirManage サービスを使用するかの設定を選択します。
適用方法	<p>AirManage サービスに参加する際の設定方法を以下から選択します。</p> <p>●サービス加入のみ</p> <p>AirManage サーバへアクセスを行うのみです。コンフィグは適用されませんが、サービスに加入し各種機能が使用可能となります。</p> <p>●ゼロコンフィグ(ネットワーク設定保持)</p> <p>AirManage サーバからコンフィグをダウンロードしネットワークの設定以外について EasyBlocks へ適用します。</p> <p>●ゼロコンフィグ</p> <p>AirManage サーバからコンフィグをダウンロードし全ての設定を EasyBlocks へ適用します。</p>
サービス適用 URL	サービス加入の際に弊社から連絡のあった FQDN 情報をフ

	<p>フォームに入力します。</p> <p>※後述の AirManage 登録にて確認まで済ませた場合、フォームは自動で反映されます。</p>
事前確認	<p>「確認」ボタンを押すことでノード側のネットワーク及び設定している URL 情報を用いて、AirManage サーバ側に登録されているか確認を行います</p>

事前確認の「確認」ボタンを押し **AirManage** が問題なく利用できる状態の場合、「保存&実行」ボタンが表示されます。「保存&実行」を押した場合、即座に **AirManage** を利用する為の再起動処理が行われます。

3.6.2. AirManage 登録

本項目では、EasyBlocks がインターネットへの接続が行える必用があります。

AirManage

AirManage登録

AirManage登録手順

AirManageを利用する場合、以下の手順に従って本体の登録を完了する必要があります。
尚、既にアカウント作成及びテナントの作成が完了している場合に、本体登録までの手順を省略することができます。
その場合には、各フェーズでは確認を行うのみで問題ありません。
i. アカウント作成
ii. テナント作成
iii. 本体登録

AirManageを使用するにはサブスクリプションへ加入する必要があります。
サブスクリプションの有効期限の確認や期限の延長に関しては [こちら](#) をご使用ください。

AirManageアカウント確認

E-Mail

test@example.com

操作

AirManageアカウント確認

◆ アカウント確認

AirManage のアカウントが存在しているかの確認を行います。存在していない場合、アカウント作成フォームが表示されます。尚、アカウントが存在しテナントに所属していない場合、テナント作成フォームが表示されます。

E-Mail	AirManage サービスのログインアカウントに用いる E-Mail アドレスを入力します。
操作	「アカウント確認」ボタンを押すことにより、AirManage サービスのアカウントが存在しているか確認を行います。

◆ アカウント作成

AirManage のアカウントが存在していない場合、アカウントを作成する必要があります。

アカウント名	AirManage サービスにて表示されるアカウント名を入力します。
--------	------------------------------------

パスワード	AirManage サービスにログインする際のパスワードを入力します。パスワードに使用可能な文字は” ” (スペース)を除く半角英数字となります。また、文字数は最低 8 文字となります。
パスワード(確認用)	AirManage サービスにログインする際の確認用のパスワードを入力します。
操作	<p>「アカウント作成」ボタンを押すことにより、AirMange サービスのアカウント作成処理を行います。</p> <p>作成処理が正常に行われた場合、設定している E-Mail アドレス宛に仮登録受付メールが届きます。メール本文内からのブラウザでアクセスすることで、本登録が行われます。</p>

◆ テナント作成

アカウントがテナントに所属していない場合、テナント作成フォームが表示されます。

テナント記号	ユーザーが所属するテナントをユニークに扱う為、記号(名称)を入力します。入力可能文字は英数字及び記号の”_”となります。
操作	<p>「テナント作成」ボタンを押すことにより、テナントの作成処理が行われます。</p> <p>既に同一名のテナントが存在する場合には作成できません。</p>

◆ 本体登録確認

AirManage サービスに、EasyBlocks 本体が登録されているか確認を行います。登録されていない場合、本体登録フォームが表示されます。

操作	<p>「本体登録確認」ボタンを押すことにより、EasyBlocks 本体が AirManage に登録されているか確認を行います。</p> <p>既に問題なく登録されている場合には、AirManage の初回アクセス設定部の設定を反映する確認のポップアップが表示されますので、「OK」等の了承するボタンを押してください。</p>
----	--

◆ 本体登録

AirManage に EasyBlocks 本体の登録を行います。

ノード名	AirManage のテナント内で EasyBlocks 本体をユニークに識別する為のノード名を入力します。 入力可能文字は英数字及び記号の”_”となります。
操作	「本体登録」ボタンを押すことにより、EasyBlocks 本体がテナント一覧で選択しているテナントに対して、入力したノード名で AirManage に登録されます。 正常に登録できた場合、AirManage の初回アクセス設定部の設定を反映する確認のポップアップが表示されますので、「OK」等の了承するボタンを押してください。

登録が完了したら、”3.6.1 AirManage”を参考に AirManage の利用開始を行ってください。

4. ログの自動削除

1 時間ごとにディスク容量をチェックし、使用率が 80%を超えている場合は、最も古いテーブルを自動的に削除します。

※ 当月分のテーブルしか存在しない場合は、当月分のデータを全て削除します。

5. その他利用方法

5.1. SSH でログイン

本装置の IP アドレスに対して、SSH クライアントソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。出荷時の IP アドレス・パスワード情報は、「出荷時設定情報」を参照ください。

5.2. シリアルコンソールでログイン

EasyBlocks の CONSOLE ポートと操作用の PC を接続し、シリアルコンソールソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。

BPV4/SYSLOG1T モデルの場合、コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB-シリアル変換アダプタ等をご用意ください。

EBX9/SYSLOG480G 及び EBIX/SYSLOGxG モデルの場合には、USB コンソールケーブルを PC 側の USB ポートに直接接続します。

ボーレート	115200bps
データ	8bit
パリティ	なし
ストップビット	1

5.3. ファクトリーリセット

工場出荷状態に戻す場合、コンソールケーブルを接続しコンソールソフトウェアにてターミナルを表示してください。EasyBlocks 本体を再起動し、起動時の Grub メニュー表示時に”v”キーを入力し、”Factory Reset Mode”にカーソルを合わせて Enter キーを押してください。これにより工場出荷状態へと戻ります。

尚、工場出荷状態へと戻る為、設定等は消えますのでご注意ください。



5.4. BIOS 設定

本装置を起動し、画面表示が出た所で **Esc** キーを押すと BIOS 設定画面に入ることができます。BIOS 設定値は変更しないで下さい。誤って変更した際には以下の設定を行って下さい。

[Save & Exit] - [Restore Defaults]と選択してください。

6. 注意事項

6.1. 電源断について

本製品は内部にてデータベースを用いています。唐突な電源断はデータベース破損へとつながりますので、電源を落とす場合は以下のいずれかを実施してください。

- WEB UI からの停止
- コンソールまたは SSH によるログイン後の `poweroff` コマンド
- PWR スイッチを押しての停止

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F